

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 31 日

事業所名:桐蔭都立大学駅前教室

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	5				4月以降、個別指導対応のために個室を設置す る
	2 職員配置数は適切であるか	5			今後、非常勤社員の追採用も検 討	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化され た環境になっているか。また、障害の特性 に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化 や情報伝達等への配慮が適切になされてい るか	5				3月には個別対応のための内装工事を予定、あ らためて確認する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	5			毎朝、職員で清掃している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	4	1			個別対応移行により、さらに強化していきます
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保護者 等の意向等を把握し、業務改善につなげて いるか	5				個別対応移行により、さらに強化していきます
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を 行うとともに、その結果による支援の質の評 価及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	5				
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか				実施していない	今後、検討する
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	2	3			4-5月には教室をお休みにし、他教室での個別 指導の研修を実施します
適切な支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成しているか	5				個別対応移行により、さらに強化していきます
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標 準化されたアセスメントツールを使用してい るか	5			当教室で作成したアセスメントツ ールを使用。	個別対応移行により、他教室を参考にしながら、 さらに強化していきます
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」、「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容が 設定されているか	5				個別対応移行により、さらに強化していきます
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	5				個別対応移行により、さらに強化していきます
	14 活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	5				個別対応移行により、今後は個々に立案するこ とになると思います。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	5				個別対応移行により、さらに強化していきます
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成 しているか	5				個別対応移行により、個別指導に一本化されま す
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	5			実施しております。	個別対応移行により、個別指導に一本化されま す
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか	5			実施しております。	個別対応移行により、個別指導に一本化されま す
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	5			サービス提供記録は保護者確認 用と実施内容詳細の2種類を作成 しています。	個別対応移行により、さらに強化されます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断しているか	5			実施しております。	個別対応移行により、さらに強化されます。
その他	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわし いものが参画しているか	5			実施しております。	個別対応移行により、さらに強化されます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者 や関係機関と連携した支援を行っているか	5			必要に応じて実施しております。	個別対応移行により、さらに強化されます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障 害のある子ども等を支援している場合)地域 の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関 係機関と連携した支援を行っているか					

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/	/		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/	/		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			すくすくのびのび園、ひまわり、ふれんずさん等と常に連携しています	個別対応移行により、さらに強化されます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	/	/		今後、取り組みを強化いたします。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	/	/	/		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				個別対応移行により、さらに強化されます。
保護者への 説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		5			個別対応移行により、さらに強化されます。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5				
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				個別対応移行により、さらに強化されます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	/	/	/		
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				個別対応移行により、さらに強化されます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3	1	災害対策や運営ルールの変更など、教室掲示および直接渡して発信しています。	今後、ホームページやSNSなど発信を強化します
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	/	/	/		
非常時 などの 対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5			訓練を実施しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			訓練を実施しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5			契約時、お伺いしています。その後の経過もうかがっています	相違の放デイに進むお子様で、就学後、投薬の可能性がある場合、保護者許可のうえで申し送りすることがある
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			契約時、お伺いしています	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5			説明、掲示があります	